

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			<ul style="list-style-type: none"> 活動内容により、弊所、公共の体育館や屋外を使用している。 また、南国スタジオを使う時には、内容やグループを分けて行うなど、適切な支援が行われるように工夫している。 南国スタジオでは、活動内容や遊ぶ内容に応じて、範囲を決めるなどしている。またお子さんに応じて屋外での個別活動なども取り入れている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			<ul style="list-style-type: none"> 定員に対する配置の必要人員だけでなく、学生のサポーターさんに入ってもらうことで、安心安全に活動ができるようにしている。 活動の内容により、その分野に長けた職員の配置や、外部講師にきてもらうなど適切な配置を心がけている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			<ul style="list-style-type: none"> バリアフリートイレ、入口の簡易スロープを設置している。 施設管理者と交渉し、安全に乗り降りができるように駐車スペースを確保している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> 活動開始前に必ずミーティングを行っている。 また毎週火曜日に、全員参加での全体の振り返りの機会を設けている。長期計画や、振り返り、モニタリング等話し合いを行い、その都度、内容改善に努めるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			<ul style="list-style-type: none"> 評価表だけでなく、支援計画の見直し時や送迎時等にはできる限りコミュニケーションをとるようにし、保護者の方のご意見も、日々の活動に取り入れるようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> 毎年ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員の方のモニタリング時等に全体の活動の様子も見ていただき、ご意見をいただき改善につなげるようにしている。 障害者スポーツセンターなど共催事業を行った際には、客観的視点からのご意見をいただいている。 第三者による評価は、他事業所との交流が少なくあまりできていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> 各研修（オンラインも含める）に参加している。 研修に参加できない場合は、その都度内容を共有している。 参加できる研修には参加させていただき、資質向上に努めている。業務と重なったときはどうしても見送ることもある。
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> 職員間で利用者のニーズや課題を話し合ったうえで、支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		5		<ul style="list-style-type: none"> 標準化されたものはない。より良い支援につなげるためにも、目に見える形で検討したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> 開催時期や内容については、職員配置等を考慮しながらスタッフ全員で話し合い、策定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> 日本の四季を感じられるような内容や、運動だけでなく制作や調理、外出支援など幅広い活動を提供している。 子どもたちや保護者からのニーズを取り入れている。 バドミントンなど継続することで大会に出場するようになる子どもおり、継続することで効果を発揮する活動は定期的に行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ご利用者全員を対象にした事業所主催のイベントを計画している。 子どもたちや保護者の要望を考慮しながら行っている。 長期休暇などは普段の平日にはできない活動（買い物やお出かけなど）を取り入れて、子どもたちの経験を増やせるようにしている。

へ 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・個々の活動や能力に応じて計画をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			・活動内容、人員配置、役割分担や支援内容の確認など、事前打合せは必ず行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			・子どもの変化や気づいたことはその都度共有している。 ・改善点などは早い段階で共有し、対応するようにしている。 ・その日ごとの振り返りができない日もあるが、週に1回は振り返りの会を設けている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		5		・記録し、次の活動に繋げている。 ・内容を絞ってより書きやすい様式に改善している。 ・動画など活動の様子を撮影しており、保護者への報告や振り返りにも用いている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・定期的に状況を聞くようにしていることに加え、必要なタイミングでモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	3		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			・一定の職員だけでなく、その職員と一緒に他の職員も帯同するなどし、対応職員を増やしている。 ・利用者の状況を把握した職員が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		・下校時間や行事予定は、保護者や学校からいただいている。 ・送迎時には学校での様子など、確認するようにしている。 ・当日の急な変更や様子の確認など、直接学校に問い合わせる場合もある。 ・トラブル発生時の連絡体制手順等を学校と整える必要がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3		・医療サービスを提供できる体制が整っていないため、医療的ケアが必要な子どもの受け入れはしていないが、今後そういった体制を整えれば、対応していきたいと考えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		・弊所内の児童発達支援ご利用者の情報共有はできている。 ・引き継ぎ会などに積極的に参加し、情報共有をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			・必要に応じて担当者などを通じて情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		・今年度は機会を設けることができなかった。 ・発達障害者支援センターの研修には参加することがある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5			・四季のイベント等では健常児も交えて参加してもらおうようにしており、一緒に活動できる機会を設けている。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		5		・現在は参加できていないが、今後積極的な参加を検討している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			・送迎時にお伝え出来ないことは、送迎後に電話やメッセージでお伝えするなど、丁寧な対応を心がけている。 ・利用終了後に必ずデイの状況を伝えている。また保護者交流イベントを開催し、保護者同士で情報交換をする機会なども設けている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3		・現在は機会を設けることができていないため、今後必要に応じて実施していく予定。 ・必要に応じて個別に情報提供をしている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、モリタリング時・送迎時など、お話をさせていただいている。 ・支援内容は、それぞれの場面で定期的に伝えるようにしている。 ・過去に頂いたご意見なども参考に、丁寧な説明を心がけている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・相談時に適切に支援ができるように努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・親子・兄弟児も参加できるイベントを企画（今年度は料理教室やズンパなど）し、活動と一緒に楽しむだけでなく、保護者同士の交流会も開催している。 ・参加できていない保護者にも、繋がりがもてる機会を増やせるよう企画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・迅速に職員間で共有し、子ども、保護者に対して誠意をもって対応できるように努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の行事予定、不定期に「なないろ」（広報誌）の発行。 ・ホームページやInstagramで活動状況の発信をしている。 ・LINEを活用し、イベントなど定期的にご案内している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画撮影など、契約時やイベントごとに確認し、取り扱いには十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に応じて、視覚支援や環境調整を行い、個別に話をする等の配慮を行っている。 ・子どもに応じて視覚支援やわかりやすい言葉で対応している。 ・発話のないお子さんや、言語理解の弱いお子さんに対して、流れて行ってもらっているときがある。今後もう少し視覚支援等を取り入れていけるとよい。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設をお借りしており、事業者の方を招待したデイを行い、その後仕事見学体験もさせていただきなど、良い繋がりを持つことができている。 ・活動地域の方をデイに招いて、交流を深めるなどしている。 	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での共有はできている。 ・高知スタジオ・南国スタジオにてマニュアルを閲覧できるようにしているが、保護者の方より配布の希望もあったため今後検討したい。 ・マニュアルの作成はおこなっているが、知らないという保護者の方もいるので、より分かりやすい場所に置いたり、SNSで発信するなどより周知に努めたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の避難訓練を実施。 ・それぞれの曜日で避難場所までの行動確認をしているが、実施曜日に偏りがあるため、満遍なく実施していきたい。 ・南国スタジオだけでなく、よく利用する体育館等の公共施設でも、訓練をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・法人内で虐待防止委員会を立ち上げており、職員研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・利用説明の際にしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどの参加時は、アレルギーの有無を再確認し、必要な場合は医師の指示書等の必要書類をいただいで対応している。 ・提供後は写真を撮影して保護者に連絡するなど体制を整えている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内および法人全体で共有している。 ・ヒヤリハット月間を設け、意識付けができるようにもしている。 ・日々の振り返りの中で、ヒヤリハットの情報共有はできている。 	